

# 概要

---

教科書P77~134

- リスト
- ナビゲーション
- 表
- フォーム

## リスト

リストをHTMLで表示する場合は、リストとなる部分をul/olタグで囲み、中の項目をそれぞれliタグで囲む

- [ulタグ](#): Unordered List ... 順序なしリスト
- [olタグ](#): Ordered List ... 順序ありリスト
- [liタグ](#): List ... リストの項目

### ulタグ(順序なしリスト)

順番を入れ替えても問題のないものを並べる。属性はない。デザインはCSSで変えよう

```
<ul>
  <li>理工学部</li>
  <li>経済学部</li>
  <li>文学部</li>
</ul>
```

結果:

- 理工学部
- 経済学部
- 文学部

入れ子にもできる

```
<ul>
  <li>理工学部
    <ul>
      <li>情報工学科</li>
      <li>電気情報工学科</li>
      <li>数理科学科</li>
    </ul>
  </li>
  <li>経済学部</li>
  <li>文学部</li>
</ul>
```

結果:

- 理工学部
  - 情報工学科
  - 電気情報工学科
  - 数理科学科
- 経済学部
- 文学部

入れ子は無限にできる

## olタグ(順序ありリスト)

ランキングなど順番のある情報を表す。

```
<ol>
  <li>Samsung</li>
  <li>Huawei</li>
  <li>Apple</li>
</ol>
```

結果:

1. Samsung
2. Huawei
3. Apple

属性に`reversed`, `start`, `type`が使える

- `reversed: true`でリストの"数字"を逆順にする
- `start`: 最初の数字を指定する
- `type`: 数える文字の種類を指定する
  - `a`, `A`, `i`, `I`, `1`が使えるのかな

```
<ol reversed="true" start="5" type="i">
  <li>Samsung</li>
  <li>Huawei</li>
  <li>Apple</li>
</ol>
```

結果:

- v. Samsung
- iv. Huawei
- iii. Apple

## 定義リスト(説明リスト)

Q&Aや日付と記事タイトルのように、対になった情報のためのリスト

- [dlタグ](#): Definition List ... 定義リスト
- [dtタグ](#): Definition Term ... 定義リスト内で用語に使う
- [ddタグ](#): Definition Description ... 定義リスト内で説明に使う

```
<dl>
  <dt>2019-07-28</dt>
  <dd>お盆期間の営業について</dd>
  <dt>2019-06-16</dt>
  <dd>意見交換会を開催しました</dd>
  <dt>2019-05-18</dt>
  <dd>社内研修のため休業いたします</dd>
  <dd>プレスリリース発表しました</dd>
</dl>
```

結果:

2019-07-28

お盆期間の営業について

2019-06-16

意見交換会を開催しました

2019-05-18

社内研修のため休業いたします

プレスリリース発表しました

dtとddのセットはそれぞれ1つ以上あればよい(dt一つに対してdd複数・dt複数に対してdd一つ・dt複数に対してdd複数 全て許される)

## ナビゲーション

この部分



- **navタグ**: ナビゲーションを表す

```
<nav>
  <ul>
    <li>理工学部
      <ul>
        <li>情報工学科</li>
        <li>電気情報工学科</li>
        <li>数理科学科</li>
      </ul>
    </li>
    <li>経済学部</li>
    <li>文学部</li>
  </ul>
</nav>
```

リストをnavで囲うだけです

リンクもつけるといいかも

パンくずリスト? 知らんな(olタグでやればいいんじゃないかな)

## 表を作る

表はtableタグで囲う。trタグで1行ずつ作っていく。

- **tableタグ**: 表を作る
- 中身の要素
  - **trタグ**: Table Row ... 行を作る
  - **tdタグ**: Table Data ... セルを表す
  - **thタグ**: Table Header ... 見出しセル
- 行の意味づけ(見た目に影響しない)

- **theadタグ**: ヘッダー部分の行グループ
- **tbodyタグ**: メインの行グループ
- **tfootタグ**: フッター部分の行グループ
- その他
  - **captionタグ**: 表の見出しや説明

## 基本

```
<table>
  <tr>
    <th>Google</th>
    <td>Android</td>
    <td>Pixel</td>
  </tr>
  <tr>
    <th>Apple</th>
    <td>iOS</td>
    <td>iPhone</td>
  </tr>
</table>
```

結果:

|               |         |        |
|---------------|---------|--------|
| <b>Google</b> | Android | Pixel  |
| <b>Apple</b>  | iOS     | iPhone |

table > tr > th,tdの順に入れ子にする。

## セルの結合

結合というよりは拡大? colspan属性で何列に渡るか、row属性で何行に渡るかを指定する。

```
<table border="1">
  <tr>
    <td colspan="2">A</td>
    <td>B</td>
  </tr>
  <tr>
    <td>C</td>
    <td colspan="2" rowspan="2">D</td>
  </tr>
  <tr>
    <td>E</td>
  </tr>
  <tr>
    <td>Z</td>
    <td>Z</td>
    <td>Z</td>
  </tr>
```

```
</tr>
</table>
```

結果:

|   |   |   |
|---|---|---|
| A |   | B |
| C | D |   |
| E |   |   |
| Z | Z | Z |

なんか...面倒だね

## その他

- th - scope属性: rowとcolumnどちらにデータが続いているかを指定

```
<table>
  <caption>料金プラン</caption>
  <thead>
    <tr>
      <th scope="col">項目</th>
      <th scope="col">ライトプラン</th>
      <th scope="col">スタンダードプラン</th>
    </tr>
  </thead>
  <tbody>
    <tr>
      <th scope="row">入会費</th>
      <td>15000円</td>
      <td>0円</td>
    </tr>
    <tr>
      <th scope="row">月会費</th>
      <td>1980円</td>
      <td>2980円</td>
    </tr>
  </tbody>
  <tfoot>
    <tr>
      <th scope="row">初年度合計</th>
      <td>38760円</td>
      <td>35760円</td>
    </tr>
  </tfoot>
</table>
```

結果:

## 料金プラン

| 項目    | ライトプラン | スタンダードプラン |
|-------|--------|-----------|
| 入会費   | 15000円 | 0円        |
| 月会費   | 1980円  | 2980円     |
| 初年度合計 | 38760円 | 35760円    |

## フォーム

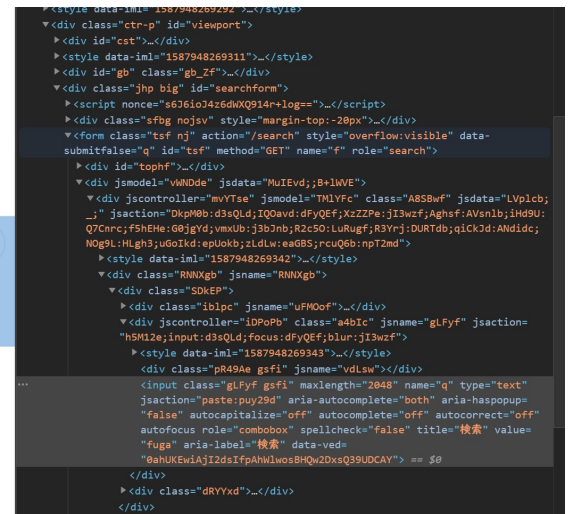
HTMLはformという機能を使ってWebサーバにリクエストを送ることができる。inputタグを使ってユーザにパラメータを入力させることもできる。

ex) Googleの検索窓



ワークアウトやレシピ動画で、家での時間を有効活用しよう

Google 検索は次の言語でもご利用いただけます: English



フォームはひとまとまりをformタグで囲う。

- **formタグ**: フォームを作る
  - action属性: リクエストの送信先
  - method属性: リクエストの種類

```
<form action="/search" method="GET">
  <!-- 内容 -->
</form>
```

## method属性について

- GET: パラメータをURLにつけて送る
- POST: パラメータをBodyに格納して送る

## inputタグ

- **inputタグ**: フォームの入力を定義する
  - type属性: 入力形式を決める
  - name属性: パラメータの名前を決める

- value属性: パラメータの初期値
- required属性: 必須項目にする

```
<form>
  <input type="text" name="text"/><br/>
  <input type="password" name="pass"/><br/>
  <input type="checkbox" name="checked"/><br/>
  <input type="radio" name="radio"/><br/>
  <input type="file" name="file"/><br/>
  <input type="hidden" name="hiddenValue" value="hoge" /><br/>
  <input type="submit"/><br/>
  <input type="reset"/><br/>
  <input type="button" value="ボタン"/><br/>
  <input type="image" src="img/icon.png"/><br/>
  <input type="search" name="q"/><br/>
  <input type="tel" name="number"/><br/>
  <input type="url" name="url"/><br/>
  <input type="email" name="mail"/><br/>
  <input type="date" name="date"/>
</form>
```

結果:



## ドロップダウン

クリックすると複数選択肢の現れるやつ

- **selectタグ**: ドロップダウンメニューを作る
  - name属性: 名前を指定
  - size属性: メニューの数を指定
  - required属性: 必須項目にする



- **optionタグ**: ドロップダウンメニューの項目を作る
  - value属性: 選択されたものの値
  - selected属性: 元から選択済みにする

```
<form>
  <select name="gender" required="true">
    <option value="male">男性</option>
    <option value="female" selected>女性</option>
    <option value="other">その他</option>
  </select>
</form>
```

結果:

女性 ▼

optgroupタグで分類もできる

## 複数行の入力欄

- **textareaタグ**: 複数行の文字入力欄を作る
  - cols属性: 1行あたりの最大文字数
  - rows属性: 入力欄の高さ(行数)
  - placeholder属性: ヒントを表示

```
<form>
  <textarea name="note" placeholder="備考欄"></textarea>
</form>
```

結果:

備考欄

## ボタン

- **buttonタグ**: ボタンを作る
  - type属性: ボタンの動作を決める

```
<form>
  <button type="submit">確定</button>
  <button type="button" onclick="alert('アラート');">じゃうあ</button>
</form>
```

結果:

label要素で使いやすくなるよ

## 演習問題

携帯の申し込みページでも作る？